

▶新オフィス

一体感、情報の共有を強く心象つけた WOWOW新オフィス

2008年12月4日、WOWOW新オフィスの内覧会があった。業務開始は12月8日から。移転先はTBSの横、赤坂パークビルの20階・21階の2フロアである。

移転の目的として同社は、①セキュリティ環境の強化、②ITシステムの高度化、③会社組織の一体感の強化および業務の活性化の3点を挙げている。

編成や制作、営業、技術の各部門は、部門間の仕切りが一切ない1フロア(20階)に集められている(写真参照)。これは、従来、各部門ごとにフロアが分かれていたため、社員間のコミュニケーションがスムーズに行えなかった教訓が生かされている。さらに、役員室など個室もガラス張り。コピー機やFAX、プリンターはユーティリティスペースにまとめられ、効率化が図られている。

セキュリティが強化された部分との中間地帯として設けられているのが、「ENGAWA(縁側)」。社員同士あるいは社外の人との打ち合わせが気軽にできるようになっている。



同様に、多目的スペース「Discovery」は通常、社員あるいは社外の人との交流の場として活用される。内覧会当日はパーティ会場となった。

このほか、試写などを目的としたシアタールーム「Starship」は、120インチのスクリーンに5.1chサラウンド仕様で、約30名が収容できる。

今回の新オフィス移転について和崎社長は、「器を新しくするだけのものではなく、完全デジタル化の時代に本当の意味でのNo.1プレミアム・ペイチャンネルを実現するために移転を決意した」と話した。

▶検索サービス

注目の企業価値検索サイト「Ullet3.0」 財務諸表など上場企業の企業価値を可視化

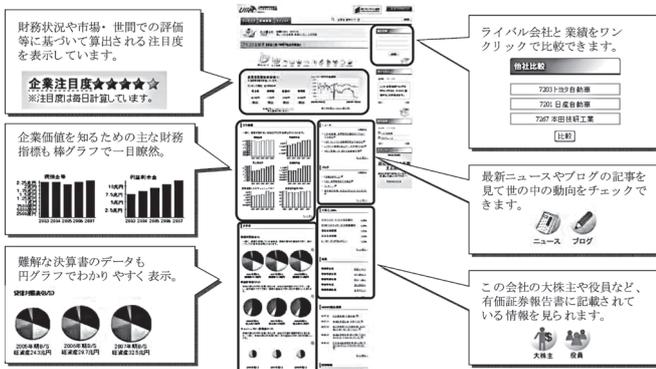
(株)メディネットグローバル

企業価値検索サイト「Ullet(ユレット)3.0」の人気の伸びている。Ullet3.0は上場企業の企業価値を簡単に判断できるように、決算書や株主、ニュースなどの情報をグラフなどで視覚化して提供するサイトだ。

このサイトを運営している(株)メディネットグローバルの西野嘉之代表取締役CEOは、次のように説明する。「Ullet3.0は、

調べたい会社名を入力してクリックするとすぐにその会社の企業価値がわかる、というのがコンセプトです。企業を評価する時には財務諸表を見ますが、一般の方には難解です。そこで、わかりやすく可視化して、複数の企業を同じ土俵で比較できるように開発したのがUllet3.0です」。

実際にUllet3.0を使ってヤフーと楽天を比較してみよう。各社の



Ullet3.0の「早わかりページ」の特徴((株)メディネットグローバルの資料より)



西野嘉之・(株)メディネットグローバル代表取締役CEO

円グラフは大きさが総資産を表しており、年々大きくなっているのがわかる。円の右側は流動負債、固定負債などお金をどう調達したか、左側は現金、流動資産、固定資産、投資などそのお金をどう割り当てたかを

表している。これらのグラフによって、ヤフーは本業で稼いでお金を割り当て、一方、楽天は財務の調達を使いながら投資に回していることがわかる。このように各企業がどういうリスクを持って経営しているか、視覚的に比較することができるというのが、Ullet3.0の大きなポイントといえる。財務諸表のほか、その企業に関するニュース、ブログ、大株主の情報なども見られる。

また、企業価値情報のページから、企業がアピールしたい情報にリンクを貼って誘導するという、企業PRのサービスも提供している。<http://www.ullet.com>